

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 303

事務事業名	果樹振興事業
-------	--------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	農林水産部		
課名	農業水産課		
課長名	下玉利 輝幸	内線	266
担当者名	坂部 利充	内線	252

基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040101	魅力ある農林水産業の振興
施策		農業の生産性の向上と販路拡大
関連施策		

会計	一般会計	
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
事業コード	040200	

事業類型	5	負担金・補助金事業
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	大村市内の果樹農家		
意図 対象をどのような状態にしたいか	高品質果実産地の育成を推進するために、品質向上策と、果樹管理作業の省力化、軽労働化によって農業経営の効率化と安定化を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	果樹生産者が実施する下記のことに対して一部補助を行う。 平成28年度 ・優良品種等の品質向上に必要な被覆資材を整備する。 ・省力化による産地育成に必要な園内道整備等及び、省力化機械(チップパー等)を整備する。		
事業期間	13 年度 ~ 平成 年度	実施方法	補助
根拠法令、要綱等	未来を創る園芸産地支援事業、産地パワーアップ事業、大村市農林水産振興事業補助金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 果樹の全面積	計画値	120.10	125.10	123.10	123.10	
		実績値	49.64	50.76	46.90		
		達成度	41.3%	40.6%	38.1%	0.0%	
活動指標	② 果樹の全農家数	計画値	243	235	241	241	
		実績値	201	193	176		
		達成度	82.7%	82.1%	73.0%		
成果指標	① 果樹受益面積	計画値	9.02	9.69	6.94	3.10	
		実績値	9.02	9.69	6.94		
		達成度	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	
	② 果樹受益農家数	計画値			26	25	
		実績値			26		
		達成度			100.0%	0.0%	

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	1,338	1,297	2,929	2,586	5,511	5,799	5,799	0
国庫支出金								
県支出金	892	865	1,953	1,724	3,674	3,866	3,866	
地方債								
その他								
一般財源	446	432	976	862	1,837	1,933	1,933	
② 人件費(千円)	2,861	453	504	1,713	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.36	0.06	0.07	0.23	みかんマルチ、チップパー、選果ライン	みかんマルチ、チップパー、選果ライン	みかんマルチ、チップパー、選果ライン	
時間外勤務(時間)	0	0	5	20				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	4,199	1,750	3,433	4,299				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

<b>事業の進捗状況</b> 昨年度の評価から、どのような取組をされましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	H27年度実績 ・みかん透湿性被覆資材(マルチ)・巻上装置導入事業 16戸、190.5a(長崎県中央農協みかん部会中部地区部会) ・樹木粉碎機(チップパーシュレッダー)導入事業 10戸、503a(武留路機械利用組合)
<b>事業が抱える問題・課題等</b>	ブランド率が低いこと。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	果樹生産農家は、市場価格の低迷により収入が減少しており、収益性の高い品種の開発、高齢化に対応した省力化と効率的な高品質果実の安定生産を図るため、施設整備等を行い優良系統への更新を行う事業が必要である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	本市の果樹の生産振興のためには消費者ニーズに対応し大村市の自然条件にあった樹種や品種の選定が必要である。このため、産地の育成、低コスト・省力化生産を推進し、安定した生産振興と安心して効率的な流通体制の確立のために市が関与する必要がある。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	平成27年度は、ブランド率は達成できなかったが、マルチ面積は向上中であり、事業成果は高い。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	みかんに対する支援は、高品質果樹産地としての認知は維持できているため、施策効果は高い。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
未来を創る園芸産地支援事業実施要綱及び大村市農林水産振興事業補助金交付要綱による。							

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

<b>内容</b> 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	生産者の高齢化・後継者不足という状況下において産地の育成を図るため、みかん、その他果樹についても、低コスト・省力化生産及び高品質果実の安定生産を推進するため、費用資材の整備を行いブランド率の向上を図る。評価を受けているブランド商品の生産量拡大を図ることが重要である。平成28年度から、みかん管理に必要な剪定作業の労力を大幅に削減するため、環境にも配慮した樹木粉碎機(チップパー)を導入する事業も統合し、果樹振興事業とし、低コスト省力化支援に対する支援も行う。
<b>効果</b> 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	生産者の経営安定と果樹品質向上に寄与する。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。